

学長式辞

佐々木 重人

ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様にも、謹んでお慶びを申し上げます。

学部卒業生が入学した2021年度の入学式は、コロナ禍で中止になった20年度との合同で挙行されました。新学期は対面授業を徐々に増やし、学生生活を正常化するための試行錯誤が続きました。

終息するまでの2年間、大学ばかりでなく、皆さんにとっても、さまざまな場面で危機管理能力が試され、創意工夫が求められた期間となったと思います。

鳳祭を例にとると、20年度は中止、21年度はオンライン開催、22年度は適切な感染対策を採りながら対面開催が行われ、23年度はコロナ前の状態に復活しました。その過程は、コロナ禍という特殊な環境のなかで、人をつなぎ合わせながら、皆さん自身の創造力と復元力を鍛える機会ともなりました。そして今、皆さんは社会に飛び立つようとしています。

大学生の就職内定率が4年連続で上昇している一方、新卒就職者のうち3年以内に離職した人は34・9%（24年10月時点）で、直近15年間で最も高くなりました。本学キャリアデザインセンターが24年



社会に飛び立つ皆さんへ

9月、「卒業生の就職先からの意見聴取調査アンケート」内容および報告書」を発行しました。19年度から5年間の本学卒業生が、在学中に「キャリアデザイン基礎力」をどの程度身につけ、勤務先でいかに実践できているかを調べ、まとめたものです。

「キャリアデザイン基礎力」とは、学習力、意思疎通力、論理的思考力、挑戦力、人間関係構築力、問題解決力の6項目で構成されます。意思疎通力、挑戦力、問題解決力は入社1年目で、学習力、論理的思考力、人間関係構築力は入社2年目で、「身につけている」という評価が最も高いことが分かりました。しかし入社3年目になると、評価値が大きく下落。4～5年目には再び上昇傾向に転じ、パフォーマンスを上げていく傾向が見て取れます。このことから、3年で離職するのは少し早いのではないかと思います。

専修大学21世紀ビジョン「社会知性の開発」とは、専修大学で身につける知識や技能を自分だけのものとして完結させるのではなく、社会の諸課題解決のためにも積極的に活用すべきというマインドを身につけることを意味します。本学の学風「質実剛健」誠実力行には、何事にも自分らしく自然体で、心身を鍛えながら、誠実に人生を歩むという誓いが込められています。ぜひ、本学で学んだことにプライドを持ち、堂々と楽しく人生を歩んでください。

(要旨)

祝 卒業・修了



総長祝辞

日高 義博

本日晴れて卒業される皆さん、学位を取得し修了された皆さん、おめでとうございます。コロナ禍という大きな制約のなか、非日常

いた保護者の方々におかれましても、本当にありがとうございます。特別な思いがあると思いますが、ともに喜びたいと思います。今日、川島記念賞を受賞された皆さんの専門領域、受賞者の人数を見ており、展したか」と喜ばれたと思っています。

川島先生は、長く政界に身を置かれていましたが、専修大学の総長としては学内に政治を持ち込まず、学生の育成、大学の発展のために諸々の仕事をされ、卒業生としての役割を果たされました。

川島先生は、長く政界に身を置かれていましたが、専修大学の総長としては学内に政治を持ち込まず、学生の育成、大学の発展のために諸々の仕事をされ、卒業生としての役割を果たされました。

信頼を得て 社会の発展に寄与

鴻 恩

こうおん

揮毫 松尾 治
文学部准教授（書作家）

「鴻」＝おおとり、ここでは大きいという意味である。
たくさんの人たちの支えがあって今の自分があるのではないだろうか。
この機会に人生を振り返ってほしい。
そして、鳳の如く未来にはばたけ。

国する田尻稲次郎先生が、次のように別れのスピーチをする場面があります。

「現在、私は皆さんからの施しに対して何もお返しできないことはありません。私の使命は、皆さんから受けた恩を祖国日本の社会の発展のために返すことです。このことを約束して帰国の途に着くことをお許しください」

留学先で知り合った4人は、留学で得た最先端の知識を日本の若者に広く伝えるという使命を果たすために、学校を創ることを約束しました。本学の建学の精神「社会に対する報恩奉仕」の原点がこのスピーチ

に込められています。本学は今日まで約33万人の卒業生を輩出してきまし

た。この間大きな震災や戦災に遭いながらも、教育と研究を継続し人材育成を止めることなく、創立146年目を迎えます。これもひとえに建学の精神を受け止めて、伝え続けてきた先人たちのおかげです。

今後、皆さんは失敗や困難に遭遇することもあるかも知れませんが、常に自ら学び続ける豊かな人生を送ってほしいと思います。4人の創立者のように社会の発展に必要なこと、そして己がなすべきことを探し続けておられます。今後とも縁を大切に、ご家族の皆様と共に卒業生への支援を続けて参ります。

自ら学び続け 心豊かな人生を

理事長祝辞

松本 健一

卒業生、修了生の皆さん、誠におめでとうございます。本学で培った学びや経験は、皆さんの今後の人生を切り拓く羅針盤の役割にな

ると確信しています。その力を自らのために有効に活かし、力強く、柔軟に人生を歩んでください。その歩みの積み重ねが、社会の発展の一翼を担う人材への成長につながります。本学で筆にいただきました。その中で、アメリカ留学を終え帰

本日は卒業、修了、誠にありがとうございます。

(要旨)